

浪商高校 3年連続の職場体験です。 2019.1.24

今年も大阪体育大学浪商高等学校の先生と1年生の生徒さん10名が来てくれました。

大正区役所の職員さんから当日の注意事項などの説明の後、簡単に大正区の概要や会社の説明をしました。



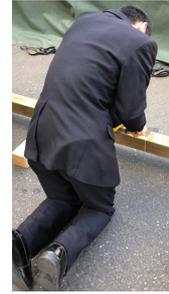
スタッフからヘルメットの正しい装着方法と、木場と倉庫の在庫品の説明がありました。



次に、加工機の紹介があり、加工体験をしてもらいました。



大阪産の板への筆書きの後、ウッドカーリングで遊んでもらって、木の角材(9cm x 9cm)のカットをのこぎりで体験してもらいました。



手で切るとよく分かるのですが、よく切れる木と切りにくい木があります。タイム競争をしました。悪戦苦闘している子が、「これは石や」とこぼしていました。



約 1 時間 30 分の所要時間でした。一応時間配分を予め考えているのですが、最初の会社説明が少し手短だったような気がします。

残り 10 分ほどで、アンケートの記入と木材利用啓発ビデオを見てもらいました。



大正区外の学校や修学旅行生をこのように企業が受け入れることの意義は、もちろん学生の見聞を広げるために協力するということです。行政的には町おこしの一環という側面があります。

私たちの受け止め方は業界人として、「木を切ることは良い事か、悪い事か」の問いかけから、木材利用への理解をしてもらうことにあります。

おととしから始まった浪商高校さんとのご縁ですが、私たちの思いが届いていることを願っています。

